

公共施設再配置（更新素案）についての地区説明会における質問及び回答（東中学校区・R6.6.18開催）

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
1	再配置の方向性	小中学校の再編	資料1 P8を見て、9つの中学校に稼働率の悪いプールを設置する必要があるのか疑問に思った。中学校も9つ必要なのか？人口減少はわかりきったことなので再考する必要ありなのでは？	基本的には、現在の9中学校区をベースに検討を進めていきたいと考えています。プールについては検討課題となります。基本的に教育委員会が進めている小中再編の形は小中一貫校となりますので、単独のときと比べると学校規模は大きくなると考えられます。	
2	再配置の方向性	小中学校の再編	学校機能の立地に際して考え方はあるか？	既存の学校用地を使うことを第一に考え、適地がない場合はその他の公共施設用地、それもなければ民有地も含めて検討してまいります。子ども達の教育活動に支障の出ない十分な広さを確保したいと考えています。	
3	再配置の方向性	小中学校の再編	具体的にどのような学校をどの様に統合するのかを教えてください。西山口・上内田・第一・東は小中一貫校にすると児童・生徒数の総数が1,000人を超える見通しであるため。1クラスは何名を想定している？	資料2のとおり、東中学校区では東中学校・上内田小学校・西山口小学校・第一小学校の統合を考えています。令和6年度の4校の児童・生徒数を足すと約2,000人となっていますので、再編検討時期に地域の皆さまと一緒に学区のあり方を検討していきたいと考えています。各1クラスの児童・生徒数の上限は35名です。学校再編計画では第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期と10年毎に30年スパンで考えており、第Ⅰ期に位置付けられているのが原野谷・城東・東中学校区となります。原野谷中学校は63年、土方小学校・第一小学校は56年ということで、老朽化の高いところを優先的に検討するよう設定しています。	
4	再配置の方向性	小中学校の再編	宅地開発の計画がないまま小中学校を再編すると、また将来再編しなければいけないか？	民間の開発は市が完全にコントロールできるものではありませんので、ある程度の増減は発生しますし、場合によっては再度の再編も必要になることもあると考えています。	
5	再配置の方向性	小中学校の再編	小中統合による児童・生徒通学方法は検討されているのか？	基本的には国の基準で、小学生が片道4km、中学生が片道6km以上の通学距離がある場合は何らかの通学支援を行うよう定められており、スクールバスや定期券支給という形での支援を行うようになります。	
6	再配置の方向性	小中学校の再編	9中学校区を小中一貫校とすると、公共施設の床面積は増えるのではないかと？	小中学校間で共有できる施設があり、複数の小学校が1つになることで特別教室の数等が減りますので、面積も減少します。	
7	再配置の方向性	小中学校の再編	東中学園について、学校再編では教育長が駅南に1校、北側に1校と学校を配置と答弁しているが、駅南地域の場所の選択には時間がかかる。どのようなスキームで実施していく予定か。	時期は未定ですが、スキーム等につきましては地域の皆さまと共に検討していきたいと考えています。	
8	再配置の方向性	小中学校の再編	東中の学区については新しい中学校区を南地区につくる市長の考えだが、学区の割り方についてどうするのか。		

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
9	再配置の方向性	小中学校の再編	東中は小中一貫校となると2,000人規模になり、駅南校を新設となる。1校50億円（国庫負担金1/2）だが、掛川市にそのような財源はあるのか？	国の考え方として「国庫負担金」と「国庫補助金」というものがあります。児童・生徒の数に対する必要な面積について国の基準があり、不足する面積については国庫負担が見込めませんが、おそらく今の各小中学校は不足面積がないので国庫負担は見込めないと思います。国庫補助としては、耐用年数がかなり経過しているということで、耐震に対する改築の部分は見込めると思います。補助金だけでは足りないの、地方債を借りて建設費用に充てることになろうかと思っています。	
10	再配置の方向性	小中学校の再編	東中学区の学校施設の位置等について具体的な話は令和7年度の策定という理解で良いか？	第1期は令和5～14年の中で検討すると計画に盛り込んでおり、現在は原野谷学園と城東学園の検討を進めているところですので、この次になってくると思います。校舎の建設等についてはかなり費用がかかるため、並行して進めることはできませんので、原野谷学園が終わり、城東学園が終わり、その次に掛東学園というように1つずつやっていきますので、時期については未定ということになります。	
11	再配置の方向性	小中学校の再編	学校再編に伴う具体案（素案）はいつごろ（時期）になるのか？		
12	再配置の方向性	小中学校の再編	色々な世代の人々が集まる地域の拠点となる施設ができることは、とても素敵な構想だと思う。学区編成が始まっていることも伺っているが、東中学区ならどのあたりにできるのか？相当の面積が必要になるが、そういった土地がこの辺にあるのか？	基本的には新規に土地を購入することは場所や費用の面から難しいことでもありますので、まず既存の小中学校の敷地を第一候補として考えていきたいと思っています。	
13	再配置の方向性	小中学校の再編	小中学校候補地の基本的な考え方について		
14	再配置の方向性	小中学校の再編	再配置に伴う、例えば通学路等の環境整備計画はあるか。	新設校がどこに建設されるで環境整備も変わってきますので、学校の位置が決定した段階で検討したいと考えています。	
15	再配置の方向性	公共施設の立地	施設と周辺エリアの均一性（中心をどこにおくか）基準はあるか	小中学校、学童保育所、公民館・地域生涯学習センターにつきましては、学校を拠点に中学校区単位で集約することを想定しています。その他の施設については用途ごとに全市的に配置を検討していきます。	
16	再配置の方向性	個別施設の方向性	住宅地の集約化と対策（過疎化へつなげるのでは）	市では立地適正化計画、都市計画の中で「コンパクトシティ+ネットワーク」を定義しています。コンパクトシティを目指しながら広い地域にある拠点を公共交通で結ぶ、という考え方であり、施設の再配置においてもそうした都市計画を踏まえながら、配置や統廃合・再配置を検討していきたいと考えています。住宅地の集約化につきましては、立地適正化計画等の考え方に合致する一方で、地域コミュニティの維持存続、周辺部を取り残さないことも必要であり、移動手段や地域福祉等のあり方について引き続き検討していきます。	
17	再配置の方向性	小中学校の再編	小中学校の場所・学区などが変わる事により私有財産である所有土地の価格が大きく変わる事が考えられ、その辺の利害関係をどう考えているのか教えて欲しい。	学校位置によって利便性が良くなる、悪くなるというのは出てくると思いますが、地価への影響は分かりかねます。市教委としてはどこに学校ができて子ども達が安全に通えるような、環境整備に努めていきたいと考えています。	

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
18	再配置の方向性	縮充	複合化によって考えられるデメリットについて説明をお願いしたい。	施設が減るため、近かった施設が遠くなり、そこまでのようにして行くのか、という問題が出てきます。今の公共施設も車をお持ちでない方が行くには困る場所もありますが、その数が多くなるというのは、1つ懸念になります。小中学校についてはスクールバスの運用を検討しています。また、地域ごとに施設を集約し地域拠点化することで、バスやデマンド交通といった様々な手段の公共交通の維持・新設等と繋げ、デメリットを限りなく削減したいと考えています。人口減少の状況下においては避けられない、重要な課題になってくると思っております。	
19	説明会	説明内容	資料1で良い事しか言わなかったけど悪い事は起こらないのか？通学が遠くなり、通学バスで通うようになる。		
20	説明会	説明内容	東中学校区は検討時期が赤枠の一方で各施設に赤色はなし。一方で北中学校区は緑枠だが各施設には赤色が存在しているのはなぜか？	東中学校区は最初の時期に検討する施設が多くなっていますが、施設の寿命としてはもう少し持つのではと考えられます。逆に、隣の北中学校区には検討時期が第Ⅲ期のものが多いです。これらは、学校再編を進めていく時期によるものが大きく、全体の半数を占めそれぞれの地域にとっても重要な学校施設をどうするかということのを他の施設と同時期に検討したいという考えからきています。例えば東中学校区は地域生涯学習センターにまだかなり新しい施設もありますが、まだ使えるのに他施設と一緒にするか、今のままにするか、色々な考え方があり思っていますので、学校再編時に一緒に検討したいと思います。また、北中学校区に関しても学校再編の同時期に検討したいという施設が多く、例えば第一小学校のように老朽化が進んでいる校舎を早めに対応したいというところや、児童生徒数を踏まえて総合的に順番を決めています。こうしたところから、地域によって違いが出ておりますが御理解頂ければと思います。	
21	説明会	説明内容	耐用年数が来てから考える、という解釈でいいのか？先ほどのお話だと、時間が掛かるから前々から検討するためにこのような会を設けているということだったと思うが。	まず施設の耐用年数があり、一番は耐用年数が来た時、老朽化して使えなくなった時にどうするか、という点から、例えば東中学校区においては市営住宅の耐用年数が青やオレンジ色で、太枠線も青やオレンジ色なので、耐用年数が来た同じ時期にどうするか検討するという形になっていきます。それがベースで、様々な周辺施設も併せて検討した方がいいのではないかとこの施設もあります。小中学校や地域生涯学習センターが・学童保育所は同時期に検討したいということで、個々の施設の耐用年数はまだ持つ状況であっても、複合する、しないの検討をすることと設定しています。そうした考え方の元、耐用年数と検討時期がずれている施設もあります。「耐用年数が来てから」という考え方については、耐用年数が来て壊れてから考えるのではなく、耐用年数がこの時期に来るからそれに向けて検討しましょう、ということなんです。実際に使っていくと、予想より持ったり、逆に早くに駄目になることも考えられます。そういった場合に、駄目になってから考えるのではなく、何年後に駄目になりそうだから先に検討しましょう、という考え方です。	
22	再配置の方向性	時期	資料1 P17に「R7.1月「公共施設の再配置(更新案)」公表」とあるが、公表した時点でGOということか？	公表してから、また御意見を頂く期間があつての決定と考えています。再配置案については、全体の検討を開始する時期と方向性を示すものですが、これはその方向性で決まり、ということではなく、その方向性を元に皆さまと考えていきたい、その時期を示したものとして捉えていただきたいと思います。	

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
23	再配置の方向性	小中学校の再編	公共施設再配置→第一弾小中統合施設配置場所等の確保は出来ているのか？見込済か？	実施時期は、令和元年に作成した案を元に更新ということになります。先ほどの事例や、原谷・城東は等、既に検討を開始しているものもあるという状況です。順次、時期が到来したものから皆さまと協議、対話をさせて頂き、どのような方向性を持ったら良いかということを検討していきたいと思っています。	
24	再配置の方向性	時期	検討時期と実施時期の関係は。1期はいつ実施。		
25	再配置の方向性	地域コミュニティ	資料1 P32地域拠点施設に地域生涯学習センターが入ると、地域住民との関係が薄くなると思われるが？	今まで地域で活用できなかった学校の音楽室や家庭科室も利用できるようになることで、地域コミュニティの1つの拠点になることを期待して、事例として御提案いたしました。もちろん地域コミュニティは非常に大切なものですので、現状の建物も一緒に確認しながら、複合化の検討を進めていきたいと考えています。	
26	再配置の方向性	防災	地震が心配です。耐震・津波対策はどうでしょうか？	現状の建物は耐震基準を満たしていますが、今後の新しい施設や統廃合する施設も含めて安全対策を十分に取っながら、管理運営を行ってまいります。	
27	再配置の方向性	縮充	統合の意味で離れている地域の統合はどうするのか。仁藤団地の統合の意味がよく分からない。	市営住宅は全体を通した中で統廃合を検討していくという計画になっています。単体でなく、市全体の市営住宅の総数に対して見直しを掛けながら、耐用年数が来た時にどうしていくかを検討していきます。	
28	再配置の方向性	跡地・空き施設	学校がなくなった土地や校舎の使い方はどうか？	跡地利用方法は市役所でも検討しますが、地域の皆さまや民間事業者の皆さまの意見も聞きながら活用の仕方を検討しています。最終的には譲渡・売却も視野に入れながら考えています。	
29	再配置の方向性	事業実施の財源	統合して新しくする為の費用はどこから来る？	対象になれば補助金も使いが、統合等に係る費用を捻出するため、運営費も含めて節約できるようにこうした計画を立てています。	
30	再配置の方向性	交通手段	広域で施設統合すると人の移動（公共交通等）を補助する仕組みが必要と思われるが、その辺り何か考えがあるか？	現状は、75歳以上の免許がない方への補助以外はございません。公共交通を何らかの方法で維持できないか検討しており、例えば中地区では車を1台用意し買い物支援ということで、高齢者が必要な時に予約をしてお手伝いをするという活動をされている、あるいはデマンド交通を行っている地域もあります。地域の皆さまにご協力いただく部分や、自動運転のような新技術も使うことで何か良い方法はないか、検討しているところです。	
31	再配置の方向性	交通手段	交通手段の確保は。		
32	再配置の方向性	将来の見通し	地域毎の年齢構成の分類を考慮しておりますか。5年後・10年後・20年後でその地区の構成人員も変わると思う。特に長期計画に対しては配慮が必要ではないか。	長期計画のため、その地区の人員構成もどんどん変わっていく中で、現状推移を考慮しながら進めています。再配置方針の策定から5年経ち見直しをしましたが、引き続き状況が変われば見直しをしていくよう考えています。	
33	再配置の方向性	検討時に考慮すべきこと	稼働率の悪い施設は存続させる必要はあるのか？稼働率の視点から見て公共施設をどうしていきたいのか考える必要がある。	稼働率につきましても大切な指標としています。	

No.	大項目	項目	質問内容	回答要旨	備考
34	再配置の方向性	個別施設の方向性	シートピアを昨年利用した時、以前に比べ利用者の数が減り寂しくなった感があった。1番残念だった事はレストランが閉鎖されていた事。窓口の人の話によれば「民間譲渡」との事でした。地元農家の農産物もなくなった。シートピアは利益を上げているのか？もし赤字の場合市は更に支援あるいは他へ譲渡するのか？	市でうまくいかないからそのまま民間に譲渡するというのは、おっしゃるように甘い考えです。同じ土俵ではうまくいかないということで、シートピアの時もそうですし、ならこの里も色々な工夫をしながらということになります。民間事業者にもうまく投資頂ける環境にする、という意味で状況を整えます。普通に譲渡する場合は、売却という形になりますが、それでは収益を回していきませんので、金額を下げたり無償にしたりということもしています。一方「税金で建てた施設を民間へ渡していいか、結局運営しないといけなくなるのでは」という疑問については、施設を譲渡ではなく貸す形で、温泉の継続を条件に上物の運営を行って頂いています。シートピアは、温泉だけでは経営が成り立たない中で収益の柱としてお金を落としてもらうために宿泊の整備をし、宿泊客の収益により回していくという経営の考え方をしており、徐々に黒字化しつつある状況です。「寂しくなった、レストランが閉鎖された」というご意見については、シートピアを市が運営していた最後の頃にはレストランは閉鎖しており、何とかカフェを作ってほしいというところで譲渡しました。実際には利用者の数は増えつつあり、時間はかかるが、持続可能な良い形に近づいているのではないかと考えています。	
35	再配置の方向性	縮充	民間譲渡でビジネスが成り立つ考えは甘すぎる！ 民間譲渡の課題を説明して欲しい。	こちらは令和元年に作成した案を元に更新ということになり、先ほどの事例や原谷・城東の学校再編等、既に検討を開始しているものもあるという状況です。順次、時期が到来したものから皆さまと協議、対話をさせていただき、どのような方向性を持ったら良いかということを検討していきたいと考えています。	
36	再配置の方向性	時期	資料2について、いつから実施するのか。	こちらは令和元年に作成した案を元に更新ということになり、先ほどの事例や原谷・城東の学校再編等、既に検討を開始しているものもあるという状況です。順次、時期が到来したものから皆さまと協議、対話をさせていただき、どのような方向性を持ったら良いかということを検討していきたいと考えています。	
37	再配置の方向性	縮充	サービス向上、付加価値について具体的に何か説明がほしい。	例えば施設統合により、従来には無かった機能や設備の充実が図られる、複合化によりこれまで数か所に足を運んで受けていた行政サービスを1箇所ですべて受けられることによる利便性の向上、あるいは民間事業者の経験を踏まえた創意工夫によりサービスの質の向上等が挙げられます。	
38	再配置の方向性	小中学校の再編	掛川市が目指している小中一貫校の姿と吉川私立美南小学校は単一の学校なのであまり参考にならないのでは？	美南小学校は複合的に新たに施設整備を行う事例で、成り立ちは異なりますが、できあがったもの・効果としては大変参考になるものと思いますので御紹介しました。	
39	再配置の方向性	地域コミュニティ	学校が統合された場合、地域同士の統合はどうなるか？	地域コミュニティは、現状のままを考えております。今のコミュニティの建物を使うことが可能であれば活用することと、学校再編・複合化の中で地域のコミュニティも準備する、特別教室も活用できる、ということも含めながら検討しています。	